

令和3年度 公益社団法人 日本栄養士会会長表彰を受賞して

福島県教育庁健康教育課指導主事 志賀 敦子

この度、日本栄養士会会長表彰をいただきまして、誠にありがとうございました。
子どもの頃から、母が病院栄養士として生き生きと働く姿を見て、自分も同じ道をとって栄養士を目指しました。学校栄養職員・栄養教諭として給食センター等に勤務し、現在は県教育庁健康教育課指導主事として、栄養教諭・学校栄養職員の先生方と連携を図りながら、福島県の子どもの食育推進に務めております。

私は「人とのつながりを大切に」という言葉が好きです。学校での勤務は、一人の配置が多いため、迷ったり・悩んだりすることが多くありますが、その度に同僚や上司の助言や協力等によってここまで続けてくることができました。現在はコロナ禍の生活で、人とのつながりが薄くなりつつありますが、こういう時だからこそ、「つながり」を大切にしていき、この受賞に恥じることなく、これからも職務に邁進していきたいと思います。今後とも御指導お願いいたします。

健康ふくしま 21 推進県民賞の表彰を受けて

財団法人湯浅報恩会 寿泉堂総合病院 吉田 仁子

この度は、健康ふくしま 21 推進県民賞表彰をいただき誠にありがとうございました。これまで病院栄養士として二十数年間勤められたのも、上司や先輩諸氏のご指導・ご支援、同輩や後輩の方々の支えによるものと深く感謝いたしております。

入職と同時に栄養士会に入会して、生涯教育や研究発表会、各種研修会等に参加してきた中で多くの専門知識を学び業務に活かすことができました。また、他の職域の方々の活動を知ることが、新たな発見も多く自分自身への刺激となっています。

コロナ禍により、栄養・食生活の重要性がより高まり、私たち管理栄養士・栄養士の活動の場は広がっています。患者さんの疾病治癒と地域の方々の健康保持増進のために、今後も栄養士会を通して自己研鑽を積み、患者さんに寄り添った食支援に努めていきたいと思っています。

頻発する大規模災害。その時我々は・・・ JDA-DAT 研修会

研修教育部
大塚 綾子

活動報告

平成 23 年 3 月 11 日東日本大震災以降、日本栄養士会では、日本栄養士会災害支援チーム JDA-DAT を立ち上げました。JDA-DAT は、国内外で大規模な自然災害（地震、台風など）が発生した場合、迅速に被災地内の医療・福祉・行政栄養部門と協力して、緊急栄養補給物資の支援など、状況に応じた栄養・食生活支援活動を通じ、被災地支援を行うことを目的としています。

そのため JDA-DAT は、災害発生後 72 時間以内に行動できる機動性、大規模災害に対応できる広域性、栄養支援トレーニングによる専門的スキルを有する必要があります。

これらは、研修によって養われています。また、食料の調達、移動手段の確保などを自身で行う自己完結性も備えています。

福島県栄養士会でも、その専門的スキルを持って活動できる管理栄養士・栄養士を育てていくために、2021 年度 JDA-DAT スタッフ養成研修を開催しました。このスタッフ養成研修を受講後、さらに JDA-DAT リーダー育成研修を受講することにより、全国で活動できる JDA-DAT リーダーになることができます。

